

今回のレッスンでは取って過去のものを使います。やったことがある方も再度準備をお願いします。オーディションのように、初めて台本を見て、いつも準備することをすべてやって臨んで下さい。よろしくお願い致します。

※台本部分のみ生かし、自己PRなどはありません。

★テーマ：台本演技を魅力的なものにしていきましょう！

お笑いに見習うキャラづくり、雰囲気の切り替え

シニアタレントクラス定期テスト課題 2019/07/02・05 男性版

●当日は1分間の自己PRと演技課題の審査になります。初めての場所で、初めて会った人に伝えるつもりで精一杯自分をアピールして下さい。

◆課題『家族って！』 ☆パパ・ママシリーズ・第4弾！

※演じるキャラクターや性別によって語尾や言い回しが変わることはOKですが、必要なセリフを増やすことは減点になります。表情・動きなどは役の気持ちや状況によって考えて下さい。

《登場人物》 ※関係性のみ。細かい設定・背景はご自身で考えて下さい。

ご自身の年齢・性別で貴明（たかあき）を演じていただきます。

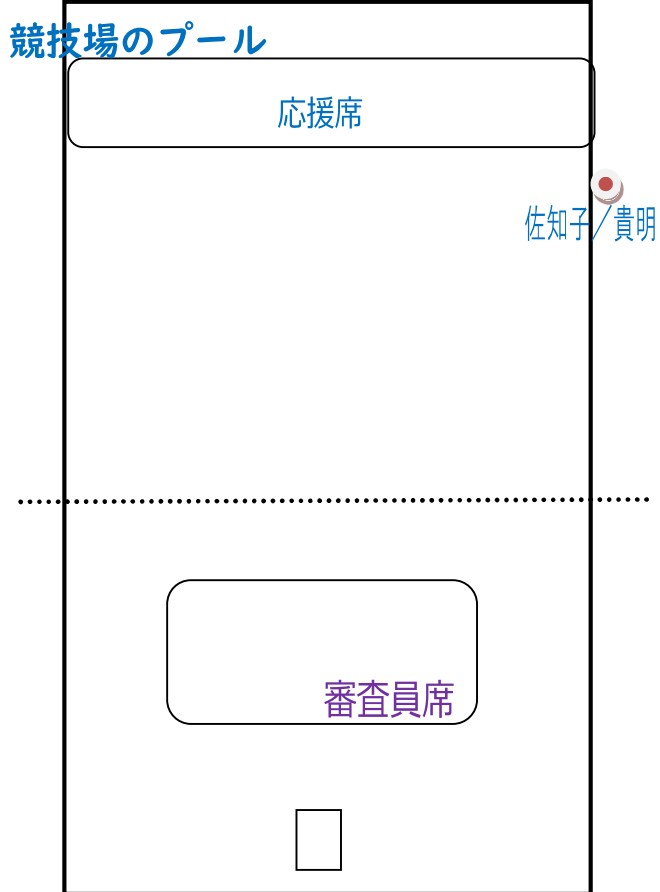
山木貴明（たかあき）／父or祖父

とても優しく、何事にも一生懸命。それゆえ思い込みが激しい部分もある。病気がちな息子（孫）に普通の学生生活を送ってほしいと願っている。

山木貴史（たかし）／高校3年生（息子or孫）

幼いころから体が弱く、少しでも丈夫な体になるようにと貴明の勧めで始めた水泳。続けてきた成果が実って学校の代表になった。

（当日の配置）あくまでも仮です。使いたい小道具は持参して下さい。



息子の高校生活最後の水泳大会。仕事が長引き、遅れてやってきた貴明。プールでは決勝がおこなわれようとしている。

○プールサイド

貴明「すみません、すみません」

狭い通路を通ってきて座る貴明。前後左右の席に「どうも」

「すみません」と挨拶したりなんかして…。

そこに「第3のコース、山木貴史くん」というアナウンスが聞こえる。(音なし。聞こえた風で)

貴明「(気づいて) あっ」

間に合ったことが嬉しくて微笑むが、思わず声を上げてしまったことの言い訳をするように、隣の席の知らない人に話かけてしまう。

貴明「あー、息子(孫)、息子(孫)なんです、3コース!」

と話していると、スタートの合図が!

目で追いながら静かに応援している貴明。

貴明「(拳を握って、小声で) がんばれ、がんばれ、あっ! (と腰を浮かす)」

プール内では一番だった息子(孫)が追いつかれて二番に…

貴明、次第に興奮してくる。

貴明「いけ、いけ、いけっ、たかしーッ! いけッ、いけッ、い、けーッ! (と、拳を振り上げ、そのまま) やったー! (と飛び上がる)」

思わず飛び跳ねてしまった貴明。周囲の視線に気づき、照れながら、

貴明「ありがとうございます、ありがとうございます、一番、息子(孫)、一番でした」

と、恐縮するものの、息子(孫)の貴史を見つけて、貴明「(叫ぶ) たかし! (手を振る) おめでとう! たかし!」

うれしさを爆発させる貴明に戸惑いながらも手をふって応える貴史だった。

終わり